

GOOD DESIGN AWARD 2016

萩野菜ピクルスが「2016 年度グッドデザイン賞」社会貢献部門を受賞 **※山口県で唯一の受賞**

合同会社 JINRI（山口県萩市）の萩野菜ピクルスが、このたび 2016 年度グッドデザイン賞社会貢献部門(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

萩の農業の現状を知り、萩の野菜を市外に売り込むために「萩野菜」と命名しブランド化を目指し販売をする中で、農家から「規格外野菜をどうにかしてほしい」と相談を受け、見た目の良し悪しに左右されない加工品のピクルス製造に着手。

高付加価値を付ける為に、見た目、デザインに徹底的に拘り、独自の野菜の瓶詰め方法や配色バランスを考案し、商品化。販売開始後まもなく、見た目の美しさから噂が徐々に広がり、雑誌やメディアで取り上げられる様に。全国の有名百貨店などからも取扱いの依頼が来るようになり、2 年間で販売本数約 25000 本を超える大ヒット商品となりました。

弊社は企業理念として「農家の実質的な収入の一助になる」「新たな産業を生み出す」という 2 つの理念を掲げており、野菜は必ず農家の言い値で買い取る（規格外だからと言って買い叩かない）などを徹底しています。

これらの 地元農業の活性化と地場産業創出の取り組みが評価され、今回のグッドデザイン賞の受賞となりました。

当社では「規格外野菜は破棄するしかない」という日本の農業界全体の問題に、これからも真正面から向き合っていく所存です。またこの受賞を通じて萩の様な地方でも新たな産業は興せるという事が伝えられればと思います。

- 受賞名称：萩野菜ピクルス
- 受賞企業：合同会社 JINRI
(本社：山口県萩市、店舗：山口県山口市)
- プロデューサー/ディレクター/デザイナー：
合同会社 JINRI 代表 椋木章雄
- グッドデザイン賞審査委員による評価コメント：
昨今、農産物の付加価値化が叫ばれているが、この商品は「野菜を美しく見せる」という、見た目の付加価値化に審査員の評価が集まった。規格外の野菜を買い取り、地元でピクルスとして製造するという社会性も評価のポイント。萩の農業生産者の収入の底上げと新しい産業創出の大きな期待を込めて、グッドデザイン賞となった。

GOOD DESIGN AWARD **2016 年度受賞**



グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2016」に出展

本年 10 月 28 日（金）から東京ミッドタウンと渋谷ヒカリエで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「[G 展] GOOD DESIGN EXHIBITION 2016」東京ミッドタウン会場において、萩野菜ピクルスが本年度受賞デザインとして紹介されます。

[G 展] GOOD DESIGN EXHIBITION 2016

会期：10 月 28 日（金）～11 月 3 日（木・祝）会場：東京ミッドタウン（東京都港区六本木）

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで 60 年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞です。



※萩野菜ピクルスの写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

合同会社 JINRI 担当：椋木 TEL：083-929-3636/080-6309-2551 mail：mukunoki@jinri.jp



萩野菜ピクルス

H A G I Y A S A I P I C K L E S



山口県萩市は四方を山と海に囲まれた自然豊かな町です。萩野菜は海のミネラルと綺麗な山水で育てられています

萩野菜

×



萩の農家さんが一生懸命育てた野菜達。しかしその中には形が悪いという理由だけで破棄される野菜があります

捨てられる野菜



丹念に育てた野菜を人間の都合で捨てたくないという農家さんの思いから、萩野菜ピクルスは生まれました

6次産業

新たな価値の創造

2012年に地元「萩」の農業をどうにかしたいという思いから、萩で採れた野菜を「萩野菜」と名付けブランド化を目指し個人事業を立ち上げました。
地元スーパーに萩野菜コーナーを設置し自社で生産した野菜と契約農家からの野菜の販売を開始。
翌年法人化をして、4店舗に展開。その時に野菜を提供してくれる契約農家から「**規格外野菜をどうにかしてくれんか？**」と相談を受け比較的簡単に組み入れる加工品のピクルスの製造を開始しました。

農家の増収

農家さんから規格外の野菜を買い取る時に一つだけルールを決めています。それは「**必ず農家さんの言い値で買い取ること。**」形が悪いから規格外というルールは野菜をカットして使う萩野菜ピクルスには関係ありません。規格外であろうが、農家は同じ労力を費やして育てています。新規就農者は技術不足で規格外が多かったり販路がなく破棄しなければならなかったり、収入が安定しません。**そういった野菜も全て言い値で買い取ること**で実質的な農家の収益の一助になる事を目指しています。

高付加価値

野菜は農家の言い値で買い取っていますが、人間関係が構築されているので常識の範囲内の値段を提示されます。それでも市場価格の半分に満たないので原価を超低コストに抑えることができており、且つ、**野菜の瓶の詰め方やデザイン、一目見ただけでダイレクトに美味しさが伝わる工夫をして付加価値を付けているので高価格設定をしてもお客様は納得して購入していただけます。**本来捨てられるはずだった野菜を高級デパートに選ばれる程の商品に昇華させています。

100年後に続く伝統を「今から」創りだす

過去の遺産

資源の枯渇

これまで

明治維新
世界遺産
伝統野菜

過去の遺産の掘り起こし

1
▼
0

萩

伝統の始まり

資源の創造

志

自ずと未来に何かを残している

1
▲
0

これから

目の前にある
問題から絶対に
逃げない